

令和6年度

文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

宮城県

自治体名：宮城県

担当課名：教育庁生涯学習課

電話番号：022-211-3690

1.自治体の基本情報



基本情報

面積	7282.29km ²
人口	2,251,867人 (R6.5.1)
公立中学校数	125校
公立中学校生徒	29,495人
公立中学校 文化部活動数	227部 (内県立8部)
都道府県の協 議会・検討会議 等の設置状況	設置済
都道府県の推進 計画・ガイドライン 等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における都道府県の現状・課題

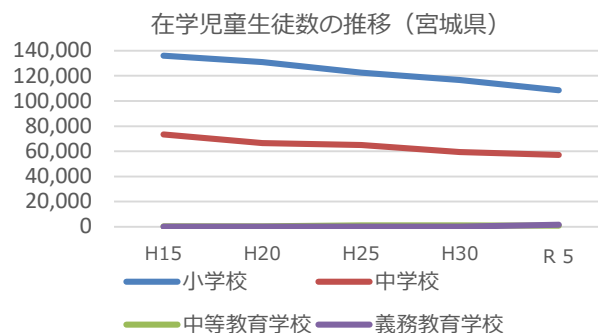
本県では、県内の市町村における準備や検討が十分になされていない現状にあることを踏まえ、令和5年度を『移行検討期間』と位置付けた。協議会組織の設置や課題の検討などの準備を進め、令和6年度から『改革推進期間』として、準備が整った市町村から順次、地域への活動に移行することを目指している。

休日における部活動の地域移行については、県のガイドラインを作成するとともに、市町村や関係団体等への説明会の実施、協議会の設置などを進めてきた。

文化部活動については、休日に活動を行っている部活動のほとんどが吹奏楽部であり、指導者の多くは教員である。部活動指導員の配置を行い、教員の負担軽減に努めているが十分とは言えない状況にある。

本年度は、行政の担当者、関係団体、教職員を対象とした研修会をとおり、地域移行の目的や意義についての理解促進に努めた。その結果、生徒がスポーツ・文化芸術に触れる機会を創出し、地域住民とともに活動することで地域全体の活性化を目指すものであること、地域文化クラブ活動は多様な在り方や実施方法があることという認識が少しずつ広がってきた。

しかし、文化部活動の地域移行の推進にあたっては、音楽や芸術分野に関する地域団体や指導者が少ない状況にある。また、地域によっては施設が少なく、活動場所の確保が難しい地域があること、文化部よりも運動部の地域移行が優先されていることが課題となっている。



令和6年度学校基本調査から抜粋し作成

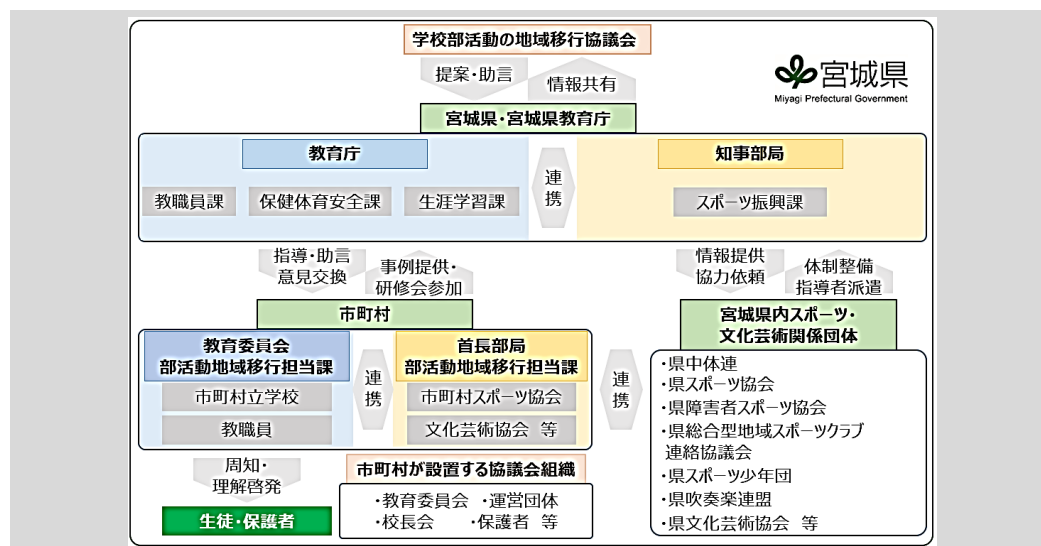
【課題】

「活動場所の確保」「施設への移動、物品管理」や「地域の団体や指導する人材の不足等」が挙げられる。少子・高齢化の進行によって、新たに地域クラブを立ち上げるにあたり、大きな負担感を感じていることも大きな課題である。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（都道府県における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

＜保健体育安全課：スポーツ分野＞

- ・県協議会の開催
- ・市町村の実態調査及び市町村支援
- ・部活動の地域移行に係る担当者説明会の開催

＜両課共通：地域移行に向けた実証事業（スポーツ・文化芸術）＞

＜生涯学習課：文化芸術分野＞

- ・部活動地域移行フォーラム等各種研修会の開催
- ・先進地域視察及び情報交換

◎知事部局 ＜スポーツ振興課＞

- ・人材バンクの運用
- ・指導者資格及び指導者研修会
- ・スポーツ関係団体向けの説明会開催

【三課共通】

- ・休日の部活動の地域移行の周知、啓発
- ・持続可能な体制整備支援

年間の事業スケジュール

令和6年	4月	学校部活動の地域移行に係る担当者説明会
令和6年	5月	学校部活動指導員研修会
令和6年	6月	第1回市町村実態調査
令和6年	8月	先進地域視察及び情報交換
令和6年	9月	第2回市町村実態調査
		部活動地域移行フォーラム
令和6年	11月	地域文化クラブ研修会
令和6年	12月	先進地域視察及び情報交換
		県内実証事業視察(角田市)
令和7年	1月	部活動地域移行研修会
		公立中学校向け部活動の地域移行Q & A作成
令和7年	2月	学校部活動の地域移行協議会
令和7年	3月	地域移行協議会分科会
		第3回市町村実態調査

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

【フォーラム・研修会の開催】

1 部活動地域移行フォーラム
県外の先進地域の事例紹介や
有識者による講演を行った。

2 地域文化クラブ研修会
地域文化クラブの活動事例を紹介するとともに、担当者間での情報
交換を行った。

3 部活動地域移行研修会
実証事業に取り組む県内自治体の
成果報告及び県外の先進地域の
事例紹介を行った。

取組の成果

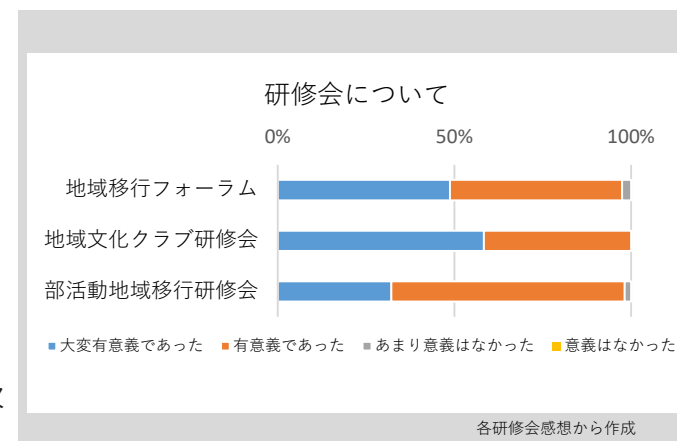
- 本年度実施した3回の研修会には行政担当者、関係団体、学校教職員など、のべ140名が参加した。
- 部活動の地域移行の目的や進め方について理解を深めるとともに、事例紹介では、従来の部活動とは異なる地域文化クラブの在り方について周知できた。
- 参加者の96.6%から「大変有意義であった」「有意義であった」と肯定的な回答が得られた。

【参加者の感想※抜粋】

「様々な角度からこの社会課題を捉えた時に、むしろ事業を推し進める
意義があると、改めて感じる事が出来た。」(部活動地域移行フォーラム)

「地域のために、子供たちのために、地域全体で取り組んでいるところが
とても印象的。」(地域文化クラブ研修会)

「地域移行は単なる部活動の代替や縮小のための手段ではなく、地域
のスポーツや文化を継続させるために行うという意図が明確に伝わった。
地域移行には目的達成のための大きな熱量と支持母体が必要不可欠
であると思った。」(部活動地域移行研修会)



今後の課題と対応方針

□課題

吹奏楽部の地域移行については、練習場所の確保、楽器の管理や運搬といった課題を抱えている市町村も多いことから、地域文化クラブへの移行まで至っていない。

□対応方針

先進地の事例紹介や関係者同士による情報交換の機会を設けるなど、ニーズに応じた支援を継続して行っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 宮城県学校部活動の
地域移行協議会の開催

オンラインで開催、14名の協議
委員が出席した。

協議会では、令和6年度の宮城
県・宮城県教育委員会の取組に
ついての報告の他、令和7年度の
取組や方向性、学校部活動と地
域のクラブ活動等のガイドラインの
改定について協議を行った。

取組の成果

- 委員からは、今後の部活動地域移行推進に向けた方策や助言といった様々な意見を聞くことができた。
- 中長期的な視野を持ち、中学生が地域で様々な人との交流をすることができる機会を創出する手段や体制
づくりへの期待が寄せられた。

今後の課題と対応方針

□課題

県内で行われている部活動地域移行の取組について、積極的に協議会に情報を提供することを求められた。

□対応方針

次年度は、協議委員会に対し、取組状況について積極的に情報提供を行い、課題の共有を図るとともに、その解
決に向けた検討、意見交換を行い、協議会の活性化を図る。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

□みやぎ地域クラブ活動指導者人材バンクシステム

円滑な地域移行クラブへの移行に向け、指導を希望する個人と運営団体・実施主体とのマッチングを支援するもの。

団体登録二次元コード



指導者登録二次元コード



人材バンクの人数

令和7年2月時点
登録指導者数 約220名
求人団体 約30団体

人材バンクの年齢構成

10代から60代まで幅広い年齢層が登録している。

種目

【主な指導可能種目】

吹奏楽
軽音楽
合唱
日本舞踊
茶道・華道
美術・工芸 等

資格有無

□文化芸術分野での登録者の多くは、教員免許状の他、所属する団体の師範などの資格を有している。

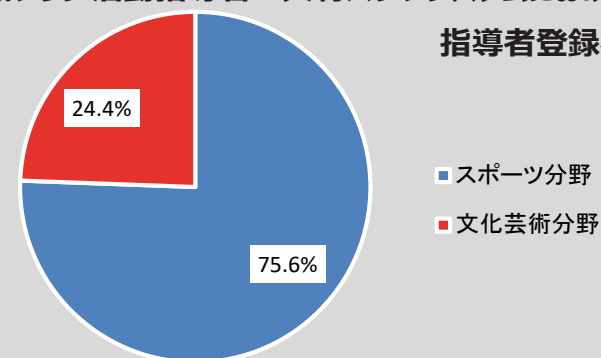
取組の成果

□みやぎ地域クラブ活動指導者人材バンクシステム

令和6年1月より関係団体への訪問、パンフレットの配布、研修会等での周知などを行い、これまで指導者の登録は約220名となった。また、求人団体登録も約30団体となり、円滑な地域移行整備を進めることができた。

今後も引き続き登録者の増加に向け、関係団体への働きかけ等に取り組むとともに、登録者と求人団体とのマッチング数の増加を目指す。

みやぎ地域クラブ活動指導者 人材バンクシステムにおける
指導者登録状況



R6.2 宮城県教育庁作成

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

□宮城県地域クラブ指導者（スポーツ・文化芸術）研修会

地域クラブ指導者や部活動指導員及び外部指導者を対象に、指導者の資質向上を図り、一定の知識を得た指導者が地域で指導する体制を整備することを目的とし、実施した。

指導者研修の参加実績

開催日	令和6年 7月15日(土)	令和6年 9月14日(土)	令和7年 1月25日(土)
参加人数	43名	61名	46名
全体の 内訳	スポーツ分野 141名	文化芸術分野 9名	合計 150名

受講者の声

- ・指導者のあるべき姿や、関係機関との連携の在り方などの重要性を学ぶことができた。
- ・けがや事故の対応、地域クラブ活動での指導方法について大変参考になった。今後の指導に活用していきたい。
- ・グループディスカッションを通じて、自分と違う考え方や新しい意見を聞くことができたのが良かった。
- ・班ごとに行った討論でリスクの理解が深まった。指導に生かしたい。

今後の課題と対応方針

□今後の課題

研修会の周知に努め、受講者を増やすとともに、今後も継続的に研修の機会を設けることで、指導者の質の向上を図る必要がある。

□対応方針

多くの指導者に周知するために、市町村を通じた連絡の他、人材バンクシステムの活用や関係団体等を通じた通知などを行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

部活動指導員の配置

□部活動指導員の配置を実施

文化部活動の段階的な地域移行及び教員の働き方改革の推進に向け、部活動指導員の配置支援を行った。

取組の成果

配置を希望する市町村に対し、6名の部活動指導員の配置を行った。
配置を行った文化部活動は、全て吹奏楽部である。

令和6年度における文化部活動指導員配置実績

配置 市町村	石巻市	柴田町
配置人数	4名	2名
部活動	いずれも吹奏楽部	いずれも吹奏楽部

今後の課題と対応方針

□今後の課題

人材の確保が難しく、配置を断念せざるを得ない市町村があった。

□対応方針

登録者の増加に向け、関係団体への働きかけ等に取り組むとともに、登録者と求人団体とのマッチング数の増加を目指す。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

□市町村訪問の実施

市町村等を訪問し、国や県が進める部活動の地域移行についての説明や取組についてのヒアリングを行った。

□文化芸術関係団体の訪問

県内の文化芸術関係団体を訪問し、国や県の方針・取組についての説明や情報交換を行った。

取組の成果

□行政を対象とした訪問

スポーツ振興課、保健体育安全課とともに市町村を訪問し、地域移行についての考え方や初動の取組について説明を行った。

□学校関係者・保護者を対象とした訪問

教職員及び保護者を対象に部活動地域移行についての国や県の方針、地域移行後に想定される地域クラブの在り方について説明を行うことで、理解促進を図ることができた。

□文化芸術関係団体の訪問

関係団体を訪問し、取組方針の説明や連携協力について依頼をすることで、関係強化を図ることができた。

今後の課題と対応方針

□今後の課題

保護者や学校関係者に対して、部活動地域移行についての意義が十分に伝わるよう周知活動を継続する。

□対応方針

文化芸術分野における指導者確保に向け、文化芸術関係団体とのさらなる連携強化に努める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

□【フォーラム・研修会での先進地域の事例紹介】

地域クラブを運営している団体の担当者を講師として招き、地域クラブの運営に係る財源の確保や受益者負担の在り方について、事例紹介を行った。

取組の成果

□【フォーラム・研修会での感想】

「実務経験を交えての説明があり、とても参考になった」

「初歩的な課題から、運営に必要なノウハウの考え方は興味深く、とても勉強になった」

「謝金や送迎など、予算の確保に向けての現実的な課題を、改めて認識できた」

などの意見が多く、地域移行に向けての具体的なイメージを参加者に伝えることができた。

今後の課題と対応方針

□今後の課題

地域クラブ運営にあたり、各地域に適した財政確保の方法や困窮世帯への支援などの対応を検討していく必要がある。

□対応方針

行政担当者、関連団体等に研修会の開催を広く周知し、様々な方法で財源の確保をしている地域クラブの事例を紹介する。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

県内外の様々な事例を広く紹介することで、地域クラブ活動の運営や活動の在り方について、周知することができた。

指導者を対象とした研修会では、中学生への指導に関する見識を深めるとともに、指導の在り方を見直す機会となった。

●成果の評価

□ 部活動地域移行フォーラムや各研修会をとおり、スポーツ・文化芸術に触れる機会の創出や持続可能な運営の在り方について検討し合い、実行していくことは「魅力ある地域づくりにつながる」ことについて周知することができた。

□ 研修会のグループ協議で行った、参加者同士の意見交流は、指導者の見識を広げることにつながった。

●今後に向けて

□ 吹奏楽部をはじめとする文化部活動では、これまでの学校部活動の形を継続している傾向がみられる。県内の自治体の現状に近い取組を行う地域文化クラブの事例を紹介することで、各市町村における地域文化クラブ活動の立上げの一助とする。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

県取組の方向性

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
市町村に対する働き掛け					
○県の方針説明 ○市町村訪問 ○協議会等の設置推進 ○地域クラブ指導者研修会 ○指導者の確保（人材バンク） ○市町村の情報提供、状況共有 ○フォーラム、研修会、説明会の開催					
学校や関係団体に対する働き掛け					
○学校に対する働き掛け ○学校現場で必要となる取組の支援 ○関係団体に対する働き掛け ○地域の関係団体としての役割や取組の支援					
地域クラブ活動の持続可能な体制整備に向けて					
○地域クラブ活動の持続可能な体制整備の支援 ○地域クラブ活動の充実に向けた支援 ○指導者数の増加、指導者の質の向上 ○自治体、運営団体・実施主体（地域クラブ）、学校の連携体制の構築					

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

県各担当課の役割分担と取組内容

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
三課共通	○持続可能な体制整備の支援 ○自治体、運営団体・実施主体（地域クラブ）、学校の連携体制の構築				・県協議会・県立中学校分科会の開催 ・市町村訪問、情報提供等の市町村支援 ・市町村実態調査 ・地域移行に向けた実証事業
保健体育安全課	○児童、生徒、保護者、教員への周知 ○学校に対する支援 ○移行段階の運動部活動に関すること ○大会等（中総体・高総体）に関すること				・部活動地域移行説明会 ・学校向け周知資料の提供 ・学校関係への説明 ・教員の兼職兼業の整備
生涯学習課	○児童、生徒、保護者、教員への周知 ○文化芸術関係者へ周知 ○学校、文化芸術関係団体に対する支援 ○移行段階の文化部活動、地域文化芸術活動に関すること ○文化芸術団体主催大会に関すること				・地域移行フォーラム及び地域移行研修会 ・先進事例及び研究地視察 ・文化芸術関係団体への訪問、説明 ・人材バンクの運用
スポーツ振興課	○スポーツ関係者への周知 ○地域クラブ活動の充実に向けた支援 ○地域クラブ運営団体・実施主体の支援 ○指導者数の増加、指導者の質の向上 ○移行段階の地域スポーツ活動に関すること ○大会等（中総体・高総体を除く）に関すること				・人材バンクの運用 ・地域クラブ活動指導者研修会 ・スポーツ関係者向け周知資料の提供 ・スポーツ関係団体訪問、説明

教職員課：教員の服務に関すること

令和6年度

文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

宮城県角田市

自治体名：宮城県角田市

担当課名：教育委員会生涯学習課

電話番号：0224-63-2221

1.自治体の基本情報



基本情報

面積	総面積14,753 km ²
人口	26,593 人 (R6.9.30現在)
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	663 人 (R6.5.1現在)
部活動数 (顧問配置数)	運動部25 部活 文化部 7 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済み

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことできる機会を確保するために、角田市及び教育委員会では、学校部活動の地域連携と地域移行による部活動改革に取り組みます。

課題 1：生徒数の減少

中学生の生徒数は、直近では同数程度で推移しておりますが、令和 5 年度以降、減少する見込みとなっております。また、生徒数の減少は、部活動種目の維持に対しても影響力が大きく、活動が困難となる部活動が出てきます。

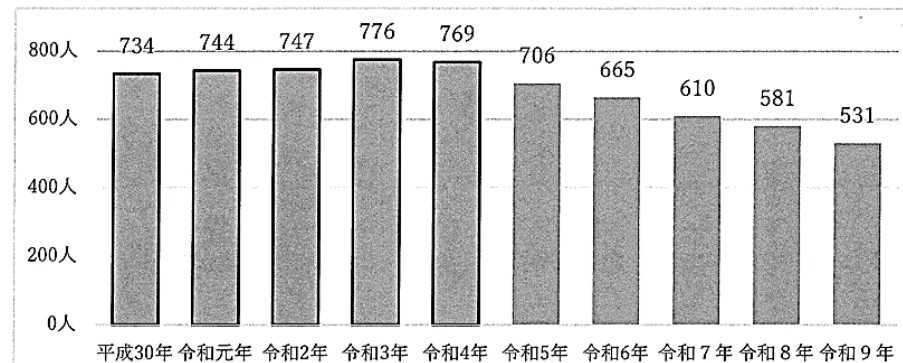
課題 2：教職員の働き方改革

中学校の部活動顧問は、平日・休日問わず生徒の指導を担当し、疲弊しています。

教職員の負担軽減を図りながら、専門種目の外部指導者を配置することで、休日の指導軽減に資する取り組みが重要であると考えます。

以上のことから、本市では部活動の良さを継承しつつ、現状の課題（少子化で現状維持が困難、教員の負担軽減など）を解決する。その際、生徒の生涯スポーツ・文化芸術活動への広がりや地域のスポーツ・文化芸術活動への好循環を創出するため体制整備を行います。

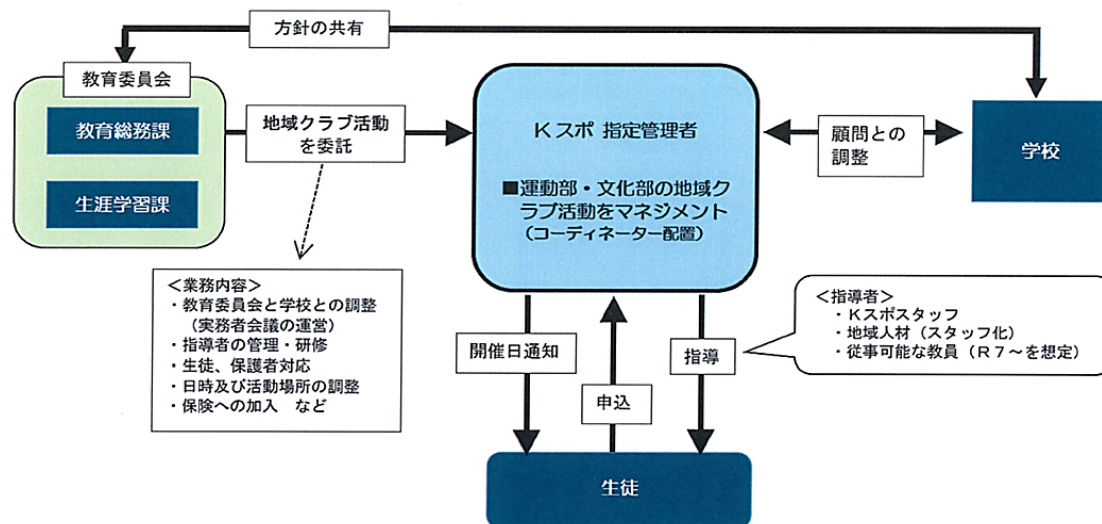
■中学校の生徒数の推移（毎年 5 月 1 日現在の数、令和 5 年度以降は推計）



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

教育総務課：学校との調整

生涯学習課：地域スポーツ・文化芸術団体との調整

◎首長部局

予算措置

公共施設所管課：地域クラブ活動での利用の支援（減免）

年間の事業スケジュール

令和6年5月	学校ヒアリング
令和6年6月	スポネット（※）会議
令和6年6月	スポーツ推進審議会
令和6年12月	スポーツ推進審議会
令和7年1月	スポネット会議 （部活動チーム会議）
令和7年2月	スポネット会議
令和7年3月	スポーツ推進審議会

（※）スポネットとは

「スポーツネットワークかくだ」の略。行政、地域スポーツ関係団体、大学、企業で構成し、（公財）笹川スポーツ財団の支援を受ける地域スポーツコミッション（R3.9登録）。スポネット内に専門チームとして「部活動チーム」を設け、当該事業の進捗に係る“協議会”として位置付けている。

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	2 校	実施した地域クラブ総数	0 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	0 人	全体の運営スタッフ数	0 人

②各クラブに関すること

令和 6 年度において、地域クラブへの移行を行った文化部活動は無い。（対象となる休日部活動：吹奏楽部 2 校）
学校等との協議は継続して行っており、令和 7 年度からの移行に向けて準備を続けていく。

③その他、体験会やイベント等の開催実績

昨年度に引き続き、多様な体験の機会の創出のため「+チャレンジ」を実施した。
生徒アンケートで希望者の多かった、①お菓子作り、②茶道教室を実施した。

実施日：令和 6 年 1 2 月 2 4 日（火）
会 場：角田市市民センター 調理室、和室
参加者：4 名

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

コーディネーター（委託業者）
を交えて、学校長及び顧問等
にヒアリングを実施

対象部活動：吹奏楽部

取組の成果

吹奏楽部については、令和7年度に地域移行することで合意を得た。
指導者については、学校の希望に叶う人材を登用することとする。

○学校側のニーズ

- ・活動場所の確保（楽器の保管場所、練習場所）は大丈夫か。
- ・音楽経験者ではなく、吹奏楽の顧問経験者を希望する。
- ・現在の顧問は“やりがい”をもって指導している。
- ・来年度の配置は、教職員の人事異動を見てから顧問を決めるため、少し時間をいただきたい。

○角田市側の確認項目

- ・活動場所については、楽器の保管場所、パート練習時の複数教室の使用を考えたときに学校で実施したい。
- ・指導者の選任については、白紙であるため学校側の求める（紹介する）人材を登用したい。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・学校ヒアリングに同席し、指導者の登録、派遣方法、報酬等の支払いに係る説明を行った。

今後の課題と対応方針

2 中学校とも、吹奏楽部の顧問の先生が熱心に指導している。
急に外部指導者を派遣するよりも、学校の希望する人材を派遣するよう
に務めた方がスムーズに移行できる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

学校とのヒアリングを通じて、「吹奏楽部」の指導ができる指導者の選定にあたり、活動場所の確保と合わせて情報交換を行った。

吹奏楽部の活動特性として、全体練習のほか、各パート練習を必要とするため、一度に複数の会場（現在は学校の教室に分かれて実施）が必要となり、現実的に活動場所は『学校』となることから、学校関係者（吹奏楽部顧問：教諭）の配置が望ましい。

今後の課題と対応方針

左記の理由から、学校としては吹奏楽部の地域移行について、「顧問」の配置を念頭としているとのこと。

新年度に入り、部活動顧問の意向を最大限考慮した上で、休日活動の指導については「兼業」での対応も視野に指導者として確保したい。

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

取組の成果

今年度は、指導者の選任に至らなかったことから指導者研修の開催は行わなかった。

今後の課題と対応方針

来年度に向けては、吹奏楽部の地域移行を進めながら、指導者選定後には運動部活動の指導者と一緒に、活動に係る指導者研修会を実施する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

- 取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実

取組事項①

吹奏楽部の指導者確保については、学校だけではなく、市内の文化団体や関係者等へ情報提供しながら、充実したクラブ活動となるよう連携を強化する。

取組①の成果

市内の文化ホール（かくだ田園ホール）でコンサート等が行われる際、主催者から無料招待を受けて参加、また、時間が合えば個別指導も受けられた。（陸上自衛隊コンサート時に、空いた時間で演奏指導の場面有り）

取組事項②

文化部の生徒に限らず、全ての中学生を対象に、多様な体験機会の提供「+チャレンジ」を実施した。

取組②の成果

部活動にない種目を、プロの講師から教わる機会として、「お菓子作り」、「茶道」を実施した。

参加者からは「普段体験できないことが体験出来て楽しかった。」と感想があった。

しかしながら、参加者が少なかったことから、次回は開催時期や募集方法を見直したい。



+チャレンジ「茶道教室」

今後の課題と対応方針

地域クラブへの活動にあたり、関係団体との連携強化は非常に重要である。

来年度、地域クラブ移行を進めるうえでは、他団体との関わりを大切に、より吹奏楽が楽しいと感じてもらえるよう取り組んでいきたい。

また、+チャレンジについては継続するが、参加者が増えるような仕掛けを、学校等と協調しながら進めて行く。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

本市では、実証事業期間（R5～R7）において、移行前の個人負担額（学校部活動の参加費用）以上に新たな負担を求めないこととし、保険料についても全額を市費で負担することとしているため、参加費用の負担実績はない。

今後の課題と対応方針

実証事業期間終了後（R8以降）については、校外活動である地域クラブの運営のため、公費負担の在り方を含め、適切な活動費（個人負担）を算出し、保護者へ負担を求めていく。

費用負担の件については、協議会（スポーツネットワークかくた部活動チーム：学校長及び部活動担当教諭もメンバー）等で議論しながら、取り組んでいく。

また、並行して、企業版ふるさと納税など、外部からの財源確保についても行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

吹奏楽部の活動場所は、楽器の保管場所やパート練習などを勘案し、「学校」が会場となる。

学校とのヒアリングにおいて、休日の学校施設の利用（誰もいない時に普通教室を利用すること等）について、「教職員が休日にも指導できることが望ましい」と意見があった。

新年度に部活動の顧問が決まってから改めて確認を行うが、学校、部活動顧問、保護者及び生徒の要望も考慮し、活動場所等の調整を行う。

今後の課題と対応方針

教諭（部活動顧問）が指導者であることを前提にしているが、将来的に指導者が外部になった場合も並行して検討する必要がある。

その場合の学校施設の管理については、あらかじめ学校とルールを決めておく必要があるため、利用ルールを作成するなど対応していきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

多様な体験機会の創出「+チャレンジ」の実施

取組の成果

両校の全生徒へ呼びかけを行い、①お菓子作り、②茶道教室を実施した。

いずれも、既存の部活動にない種目であって、先のアンケートでも希望者の多かったもの。

参加者は4名（申込時10名：当日欠席者6名）と少なかったが、専門の講師から直接指導を受け、参加者の満足度は高かった。

今後の課題と対応方針

企画（取組み）自体は学校等からも高評価いただいたが、冬休み初日のクリスマス前日であったこと、申し込み方法がチラシのQRコードから参加者個人が直接申し込むことが伸び悩みにつながった。来年度開催に際しては、この反省を活かしたい。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和 6 年度の実証事業においては、「吹奏楽部の地域移行」について、学校ヒアリングを通して、次年度での意向を進める準備ができた。

また、昨年に引き続き、多様な体験機会の創出を目的とする「+チャレンジ事業」を実施した。

●成果の評価

吹奏楽部については、令和 7 年度からの移行について、道筋を付けられたことは良かった。

一方、「+チャレンジ」においては、実施時期等の調整が不足していたため、内容は良かったが、参加者数が振るわなかったのは反省点である。

●今後に向けて

引き続き、コーディネーター・学校と協議を重ねながら、令和 7 年度中の地域移行を完遂することに努めたい。

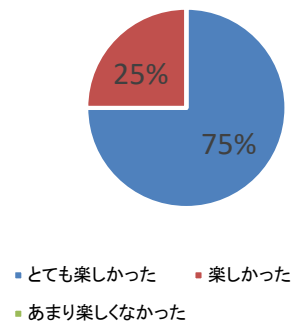
次年度も実施を予定する「+チャレンジ」については、内容や開催時期を見直し、多くの生徒に体験してもらえるように努める。

2.実証内容と成果②

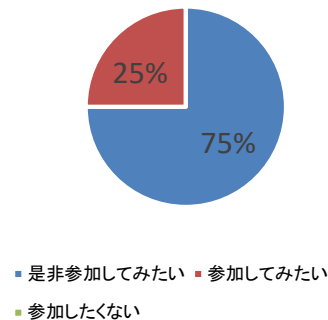
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

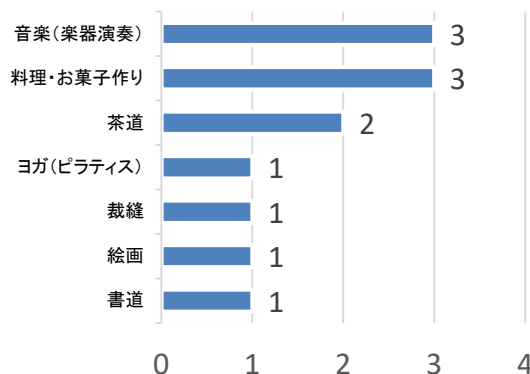
Q. 2 参加してみてどうでしたか？



Q. 3 今回体験した講座が地域クラブで市内にあったら、参加してみたいですか？



Q. 4 今後やってほしい講座、参加してみたい講座は何ですか？（3つまで）



Q. 5 その他（自由記述）

- ・初めてお茶を体験しました。楽しかったです。
- ・お菓子作りもかわいいキャラで楽しかったです。

●参加者の声

中学2年生（女子）

初めてお茶を体験しました。楽しかったです。

中学1年生（女子）

お菓子作りもかわいいキャラで楽しかったです。
また、参加したいです。

指導者（お菓子作り）

少人数の指導だったが、みんな素直に説明を聞いてくれて進めやすかった。「サンタ団子大成功」

指導者（お茶）

十分な指導時間を取ってくれてありがとうございました。
参加者にはお点前だけではなく、お茶の世界観を感じていただけたのではないかと思います。

2.実証内容と成果②

アンケート結果・広報資料



+チャレンジ開催

茶道体験会! **お菓子作り体験!**

+チャレンジとは新たな自分の発見に繋がる活動になります。
新たな才能を発掘するチャンス!! みんなで参加しましょう!

場所 角田市市民センター
(住所:角田市角田牛館10)

受付 一階談話室 9:30より受付開始

日時 12月24日(火) 10:00~

持ち物 エプロン、三角巾

参加費 300円 (お菓子作り代、茶道代含む)
※当日、料金を徴収いたします。

お問合せ先
NIKKOアークかくだ 佐藤
(角田市総合体育館)
0224-63-3771

お申込みは
こちらから



【生徒への参加啓発チラシ】

「+チャレンジ」参加者アンケート

Q1:学校名・学年は _____ 中学校 _____ 年

Q2:参加してみてどうでしたか(該当する番号に○)

1 とても楽しかった 2 楽しかった 3 あまり楽しなかった

その理由は?

Q3:今回体験した講座が地域クラブで市内にあったら、参加してみたいですか。

1 是非参加してみたい 2 参加してみたい 3 参加したくない

Q4:角田市では今回のような取り組みを今後も開催していく予定です。

「やってほしい講座」、「参加してみたいな」と思う講座は何ですか。(3つまでに○)

1 料理・お菓子作り 2 茶道 3 華道 4 書道 5 絵画 6 工作・木工 7 裁縫

8 ヨガ(ピラティス) 9 音楽(楽器演奏) 10 その他()

Q5:その他(自由記述)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

【生徒へのアンケート用紙】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【お菓子作り教室①】



【茶道教室①】



【お菓子作り教室②】



【茶道教室②】

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

推進計画策定

ロードマップ策定

令和5年

学校現場との調整

生徒、
保護者への説明
(地域移行全体)

令和6年

学校ヒアリング
(要望の確認)

令和7年

地域クラブ活動の
開始

●ステークホルダー

教育委員、学校長、部活動担当教諭

●経過

スポネット会議の部活動チームにおいて検討を重ね、令和5年3月に「角田市における部活動の地域移行推進基本計画」を策定。

●実施にあたって生じた課題

特になし

●実施内容、工夫した点 等

在校生（1～2年生）全員とその保護者、教職員にアンケート調査を実施。チーム会議及びスポーツ推進審議会等の協議を経て策定した。

●ステークホルダー

学校長、部活動顧問、生徒及び保護者

●経過

学校ヒアリング及び教職員への説明会、保護者説明会を実施

●実施にあたって生じた課題

実施場所や方法など、近隣市町村に先駆けて実施したため、保護者や教職員の不安感を払しょくすることに努めた。

●実施内容、工夫した点 等

小学4年生以上の全世帯へ、「中学校の部活動だより」というチラシを不定期で配布し、現状や制度の内容について説明を行った。

●ステークホルダー

学校長、部活動顧問

●経過

学校長とのヒアリングにおいて、「指導者の選任にあたっては、学校の希望を優先してほしい」旨の依頼があり、了解した。

●実施にあたって生じた課題

吹奏楽部の活動場所として「学校」が選定される中、休日に学校で活動できる体制・指導者の配置

●実施内容、工夫した点 等

教職員の“兼業”も含め、学校の希望を最大限に尊重することで、理解を図った。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

